

# ヨコハマ市民まち普請事業とは？

市民の皆様が、身近な生活環境の改善を図るための施設（ハード）整備を行う際の企画提案を行い、年2回のコンテストを経て選考する助成制度です。

一次コンテストを通過すると、二次コンテストに向けた活動に必要な上限30万円の活動助成金を交付します。

二次コンテストを通過すると、次年度に上限500万円の整備助成金を交付し、翌年度整備を実施します。

活動懇談会にあわせて  
企業マッチング会を初開催

## 提案が「かたち」になるまで

相談・応募から活用運営までの流れ



### アイデアと熱意が勝負

一次コンテストでは、審査員と一般参加者に向けて提案内容を説明していただきます。審査員との質疑応答を経て、公開投票により二次コンテストへ進む提案が選考されます。

審査基準 ①創意工夫 ②意欲 ③公共性

### ここから夢がスタート

「応募申込書」と地域で取り組んでみたい施設整備のアイデアをまとめた「提案書」を提出してください。

応募

ホップ  
まずは前を向いて  
大きな一歩  
一次  
コンテスト

通過

### 活動助成金

一次コンテストを通過すると、まちづくりの専門家への支援や活動の広報などに使える、最高30万円の活動助成金を受けることができます。

意見交換と アドバイス

計画づくりの段階で、審査員、まち普請事業の先輩と意見交換できる場です。二次コンテスト通過に向けて、具体的なアドバイスを受けることができます。



### 熱意に加えて、より具体性を

二次コンテストでは、検討を重ね磨きあげた提案を発表していただきます。発表は、映像を用いたり、寸劇をするなど工夫して行われています。公開での審査・投票を経て、助成対象となる提案が選考されます。



審査基準 ①創意工夫 ②実現性 ③公共性  
④費用対効果 ⑤地域まちづくりへの発展性

### ステップ

上を目指して  
さらに前進  
二次  
コンテスト

通過

### 先輩として サポートする立場に

整備が完了したグループには、地域まちづくりをさらに盛り上げていくためのお力添えをお願いしています。他のグループやこれから提案を考えている方々へこのから提案を考えている方々へこのから提案に協力ください。

ジャンプ  
年をまたいで  
ゴールへ向かう  
整備  
(次年度)

### 整備・活用運営

つくって終わりではありません。維持管理、活用運営を通して、まちづくりの輪を広げていきましょう。



### 整備助成金

二次コンテストを通過すると、設計費、工事費、工事監理費などに使うことができる最高500万円の整備助成金を受けることができます。

### 特色 1 いつでも相談

- 市の担当者から、事業の詳細、応募の要件などをご説明します。「無理かな？」と思うものでも、担当者と一緒に考えます。お気軽にご相談ください。
- <事前登録制度>があり、登録すると、まちづくりの専門家の派遣を無料で受けることができます。

### 特色 2 2回の公開コンテスト

- まち普請事業では、助成対象の提案を2回のコンテストで選考します。選考プロセスが見えるよう、いずれのコンテストも公開で行います。

### 特色 3 検討の支援

- 提案の実現性を高めるために、関係機関との話し合いの場「提案検討会」に市の担当者も同席します。

「ヨコハマ市民まち普請事業」では、施設整備という共通の目標に向かって住民同士が助け合い、提案の企画検討、コンテストへの挑戦、自分たちでできる部分の工事に共に汗を流して取り組み、完成した施設の活用・運営を続けています。こうしたことによって、**地域課題の改善に資する施設が整備されるだけでなく、地域コミュニティの活性化が図られています。**

### 【ヨコハマ市民まち普請事業による整備実績】

平成17年度の事業開始から、これまでに125件の応募があり、38件が整備済みです。今年度中にさらに3件整備予定です。（平成27年9月時点）